

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	基礎製図(0906)	
科目基礎情報							
科目番号	0124			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	建築設計教育研究会『建築設計教室』彰国社						
担当教員	馬渡 龍						
到達目標							
機械部品，建造物，建築物等の図示法を理解することは，技術者に要求される必要不可欠な要素である．本講義では，製図規格，関連規格を正しく理解し，基礎的な製図能力，読図能力を身につけることを目標とする．							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1図面		線の種類の使い分け、図面の完成度・精度が高い	線の種類の使い分け、図面の完成度・精度がある程度できている		線の種類の使い分け、図面の完成度・精度に欠ける		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	機械部品，建造物，建築物等の図示法を理解することは，技術者に要求される必要不可欠な要素である．本講義では，製図規格，関連規格を正しく理解し，基礎的な製図能力，読図能力を身につけることを目標とする．						
授業の進め方・方法	製図の一般的な規則を学んだ上で、建築製図の基礎的な表現や図面のルールを学ぶ。①立体の表現、②建築の基本図（配置図・平面図・立面図・断面図）を作図することを通して建築製図の基礎を習得する。各テーマにおいては、課題の説明を行ったうえで、作図に取り組む。						
注意点	平行定規（学校備付け）を使い図面を作成するため、指定の製図道具を準備すること。作図の際は、早さ・正確さ・要領のよさが求められる。図面は書き手以外の様々な人にも理解してもらう必要があるため、毎回丁寧に心を込めて作図を行うこと。備付けの平行定規を丁寧に扱い、使用した机や教室の後片付けも忘れないこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	製図と規格，製図用具の使い方，図面に用いる文字と線				
		3週	基礎的な図形のかき方Ⅰ 作図演習				
		4週	基礎的な図形のかき方Ⅰ 作図演習				
		5週	基礎的な図形のかき方Ⅱ 作図演習				
		6週	基礎的な図形のかき方Ⅱ 作図演習				
		7週	基礎的な図形のかき方Ⅲ 作図演習				
		8週	基礎的な図形のかき方Ⅲ 作図演習				
	2ndQ	9週	建築製図の基本 平面図の描き方				
		10週	建築製図の基本 平面図の描き方				
		11週	建築製図の基本 立面図の書き方				
		12週	建築製図の基本 立面図の書き方				
		13週	建築製図の基本 断面図の描き方				
		14週	建築製図の基本 断面図の描き方				
		15週	到達度試験 （答案返却とまとめ）				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0